



水環境活動を充実させたい団体のみなさまのお手伝いをいたします！

検討会企画 募集中

応募締切
令和6年
9月30日



福島県では、豊かな水環境の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。

このたび、各団体における水環境活動の充実を図るため、活動内容の検討から実施までを一連で行う取組を支援することとしました。

水環境活動の充実や活性化を図りたいと考えている団体の皆様から、県の協力により実施する検討会の企画案を募集します。



【申込み・問い合わせ先】

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当

電話：024-521-7123

FAX：024-521-7911

Mail：tochi_mizu@pref.fukushima.lg.jp

福島県HP



※この事業により、SDGsの目標達成に近づくとともに、持続可能な社会の実現に寄与しております。

※この事業は、福島県森林環境税を活用して実施しております。

令和6年度水環境活動検討会企画提案募集の御案内

1 趣旨・目的

福島県では、豊かな水環境の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。
このたび、各団体における水環境活動の充実を図るため、活動内容の検討から実施までを一連で行う取組を支援することとしました。
水環境活動の充実や活性化を図りたいと考えている団体の皆様から、**県の協力により実施する検討会の企画案を募集**します。

2 対象

福島県内で水環境活動を実施している団体
(特定非営利活動法人、ボランティア団体等の民間非営利組織に限る。)

3 条件

企画内容	県内各流域の上下流及び流域間の連携、交流機会の充実に向けた検討及び活動
具体的内容	<ul style="list-style-type: none">● 水環境活動の充実に向けた活動内容の検討・実施であること。● 参加人数や対象などが具体的であること。● 提案が具体的であること。● 上下流及び流域間の連携や交流の機会の充実につながる内容であること。● 健全な水循環の維持、回復につながる内容であること。● 活動実施までしっかり行えること。
検討及び活動の参加対象者	(検討) 団体の構成員 (活動) 団体の構成員及び地域の個人や企業、団体など
参加予定人数	(検討) 5～10人程度 (活動) 20～30人程度 (最小催行人数20人以上)
実施時期	随時
県が負担する対象経費 ※できる限り詳細に記載願います。	(検討) 資料・チラシ印刷代、会場使用料 招待講師の旅費・報償費(県規定額)、消耗品費 (活動) 貸切バス代、資料・チラシ印刷代、参加者保険加入料 会場使用料、招待講師の旅費・報償費(県規定額) 消耗品費

※検討会実施にあたり、他の水環境団体等からアドバイザーを派遣することも可能です。

4 企画の選定

復興・総合計画課が書類審査を行い、県が協力して実施する企画を予算の範囲内で選定します。
審査にあたっては、「3条件」を満たしていることを確認したうえで判断します。

5 提案方法等

事業計画書（別紙様式）を、下記までメール又は郵送にて提出してください。

提出先	〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
	福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当
	E-mail: tochi_mizu@pref.fukushima.lg.jp

応募締切 **令和6年9月30日(月)17時必着**

6 結果の通知

「4 企画の選定」により、審査のうえ選定終了の後、随時、各応募者に対して審査結果を通知します。

7 事業の実施

選定された企画の提案者は、主体的に検討し、活動していただきます。
※企画内容は、調整させていただく場合があります。

<記入例（水環境活動内容検討会）>

別紙様式

令和6年 月 日

福島県復興・総合計画課長 様

住所 ○○○○○○○○○
 団体名 ○○団体
 代表者 代表 ○○ ○○

令和6年度水環境活動検討企画提案書

1 企画案の内容等

検討会概要	「○○川流域水環境活動検討会」 ・第1回（検討）「地域の水環境活動を知ろう」 ・第2回（検討）「水環境活動を考えてみよう」 ・第3回（活動）「水環境活動をやってみよう」 ・第4回（検討）「第3回の活動を振り返ってみよう」	
検討会内容	・第1回 ①（講座）他の水環境団体○○からの活動紹介 ②（検討テーマ）「地域の水環境の特徴を語ろう」 ・第2回 ①（検討テーマ）「活動充実のために必要なことを話そう」 ②（検討テーマ）「実際の活動を考えてみよう」 ・第3回 ①（活動実施）検討した水環境活動の実施 ・第4回 ①（検討テーマ）「第3回の活動を振り返ってみよう」 ②（検討テーマ）「今後の活動方針を考えよう」	
事業の目的	上下流や流域間の連携・交流	●●川流域の■■地区で水環境活動を実施しているが、メンバーの高齢化に伴い活動内容の充実を図ることが難しくなっている。今後、●●川の上流から下流までの各地域の方々と活動していくためにどのような活動が効果的か検討し実施する。
目的	健全な水循環の維持・回復	地域の水資源の歴史や文化を紐解き、地域住民が周辺の水環境を自分事として学び、それを生かした活動を実施することで継続した地域活動を実現する。
対象者	(検討)水環境団体□□の構成員 (活動)地域住民	参加予定 (検討) 5人 人数 (活動) 20人
実施時期	第1回 5月上旬、第2回 5月中旬、 第3回 7月下旬、第4回 8月上旬	
県が負担する対象経費	【第1、2回】 会場使用料 : 9,000円 (○○会議室6時間 (3時間×2回))	
	講師代 : 県規定により算出	
	備品代 : 5,000円 (模造紙、付箋、ペン一式)	
	【第3回】 貸切バス代 : 50,000円 (大型バス1台)	
	資料・チラシ印刷代 : 5,000円	
	参加者保険加入料 : 1,500円 (50円×30人)	
講師代 : 県規定により算出		
消耗品費 : 5,000円 (軍手30双、水30本、アルコール消毒液1本)		
合計		75,500円+講師代

令和6年 月 日

福島県復興・総合計画課長 様

住 所
団体名
代表者

令和6年度水環境活動検討企画提案書

1 企画案の内容等

検討会概要			
検討会内容			
事業の 目的	上下流や 流域間の 連携・交流		
	健全な水 循環の維 持・回復		
対象者		参加予定 人数	
実施時期			
県が負担する 対象経費			